

第157号

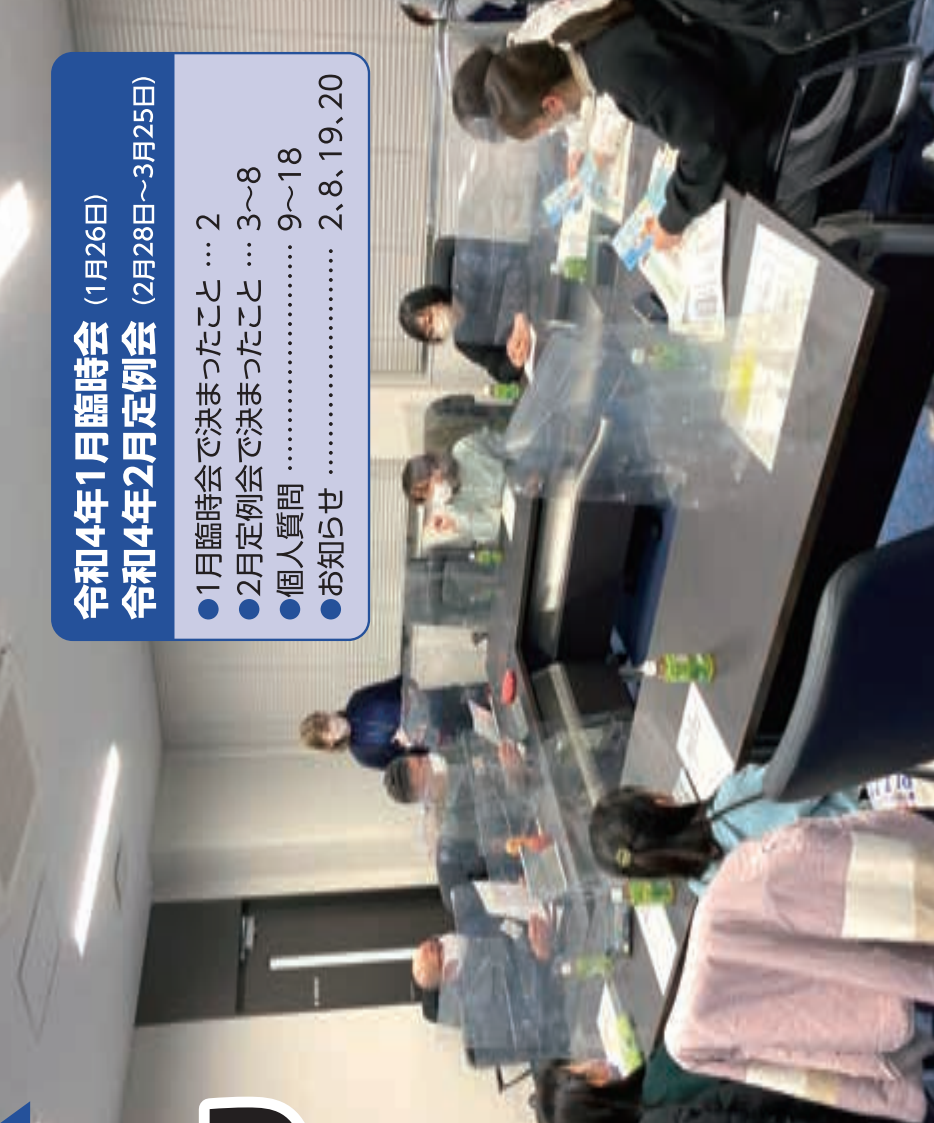
2022.5
(令和4年)

ひこね 市議会だより

令和4年1月臨時会 (1月26日)

令和4年2月定例会 (2月28日~3月25日)

- 1月臨時会で決まったこと …… 2
- 2月定例会で決まったこと …… 3~8
- 個人質問 …… 9~18
- お知らせ …… 2、8、19、20



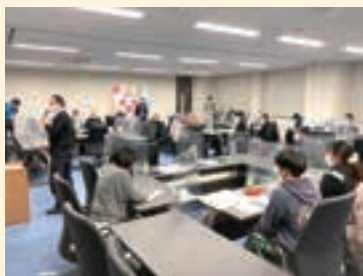
第38回議会報告会『カタリバ』を開催しました 令和4年1月18日(火)



国立大学法人滋賀大学との連携・協力に関する協定に基づく事業の一環として

第38回議会報告会 カタリバ

『勇気をだして聞いてみよう！市議会や議員のあんなこと、こんなこと』
を開催しました！



令和4年1月18日(火)、市役所本庁舎5階 第2・3委員会室にて議員が学生や市民参加者と同じテーブルを囲んで、議員や市議会に関する疑問にお答えするワークショップ形式の議会報告会「カタリバ」を開催しました。

今回は一部オンライン会議システムを利用して実施し、総勢25名の参加者の方々と議員8名が意見交換を行いました。

参加者からは、「議員になろうと思ったきっかけは」、「議員はいつもどんなことをしているのか」、「議員の間にやり遂げたいことは」、「子育て中の人でも議員になれるのか」等、様々な質問を頂戴し、その1つ1つに議員からお答えさせていただきました。

受け答えの中で生じた気づきやいただいたご意見を今後の議会の取組や議会報告会の運営に生かしてまいります。

この他にも・・・

国立大学法人滋賀大学との連携・協力に関する協定に基づく事業として、以下の取組を実施しました！

- 令和3年11月9日(火)：議員(3名)が「議員の魅力」について講義
- 令和3年12月7日(火)：学生による議会傍聴(個人質問)
- 令和4年1月14日(金)：データサイエンス学部学部長を講師としてお招きし、
「デジタル社会におけるデータサイエンスの役割」について議員研修会を実施
- 令和3年11月から令和4年1月にかけて：学生による議員取材&取材結果の記事作成

1月臨時会の結果

1月26日(水)の1月臨時会の結果についてお知らせします。
予算関係4件を原案のとおり可決しました。

1月臨時会 議案の審議結果

会期：1月26日(水)

■全員賛成で承認・可決した議案

項目	番号	件名
議案	1	専決処分につき承認を求めることについて(令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第14号))
	2	専決処分につき承認を求めることについて(令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第15号))
	3	令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第16号)
	4	令和3年度(2021年度)彦根市病院事業会計補正予算(第2号)

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	1	和解および損害賠償の額の決定について
	2	損害賠償の額の決定について
	3	和解および損害賠償の額の決定について

2月定例会の結果

3月25日(金)に閉会した2月定例会の結果についてお知らせします。
 予算関係19件、条例関係9件、その他議案6件を原案のとおり可決しました。
 また、意見書案1件と決議案1件を可決しました。

2月定例会 議案の審議結果

会期：2月28日(月)～3月25日(金)

■全員賛成で可決した議案等

項目	番号	件名	
議案	5	令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第17号)	
	7	令和4年度(2022年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	
	8	令和4年度(2022年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	
	10	令和4年度(2022年度)彦根市介護保険事業特別会計予算	
	11	令和4年度(2022年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算	
	12	令和4年度(2022年度)彦根市病院事業会計予算	
	13	令和4年度(2022年度)彦根市水道事業会計予算	
	14	令和4年度(2022年度)彦根市下水道事業会計予算	
	15	彦根市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	
	16	彦根市職員の給与に関する条例および彦根市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例案	
	17	彦根市新型コロナウイルス感染症対策支援基金の設置、管理および処分に関する条例の一部を改正する条例案	
	18	美しいひこね創造条例の一部を改正する条例案	
	19	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	
	20	彦根市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例案	
	21	彦根市公園条例の一部を改正する条例案	
	22	彦根市消防団条例の一部を改正する条例案	
	23	彦根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	
	24	市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて	
	25	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	
	26	彦根市総合計画基本構想を定めることにつき議決を求めることについて	
	27	第2期彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略を変更することにつき議決を求めることについて	
	28	彦根市スポーツ・文化交流センターの指定管理者の指定につき議決を求めることについて	
	29	訴えの提起につき議決を求めることについて	
	30	令和3年度(2021年度)彦根市一般会計補正予算(第18号)	
	31	令和3年度(2021年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	32	令和3年度(2021年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第1号)	
	33	令和3年度(2021年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	34	令和3年度(2021年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	
	35	令和3年度(2021年度)彦根市病院事業会計補正予算(第3号)	
	36	令和3年度(2021年度)彦根市水道事業会計補正予算(第2号)	
	37	令和3年度(2021年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第2号)	
	38	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)	
	決議	1	ロシア連邦によるウクライナへの侵攻に断固抗議する緊急決議案

■賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 一：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	長崎	堀口	北川	辻	杉原	小川	和田	野村	森野	森田	小川	矢吹	赤井	上杉	中野	林	谷口	伊藤	馬場	黒澤	安澤
議案	6	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	令和4年度(2022年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	1	精神障害者に対する福祉医療費助成制度の充実を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●



当初予算の主な事業

新型コロナウイルスワクチン接種事業

3億2,467万8千円

予防接種法に基づき、新型コロナウイルスワクチンについて、18歳以上の追加接種対象者、12歳以上の未接種者および5歳から11歳までの希望される方に接種を実施するために必要となる経費です。

(対象者)

- ・追加接種対象者 82,978人
- ・12歳以上の未接種者 14,241人
- ・5歳から11歳までの方 7,303人



予防接種事業

4億6,080万8千円

うちHPVワクチン分

1億5,800万6千円

HPVワクチンについて、積極的勧奨を再開するために必要となる経費です。
なお、定期接種からはずれる17歳から25歳までの方に対してもキャッチアップ接種として予防接種が実施されます。*HPVワクチンとは、子宮頸がんワクチンのことです。



小学校教育用コンピュータ整備事業

1億6,186万3千円

各教科等の目的達成および情報教育の一層の推進を図るため、教育用コンピュータ等の整備・充実を行うために必要となる経費です。

彦根城世界遺産登録推進事業

2,534万2千円

うち彦根城世界遺産登録推進協議会負担金

2,500万円

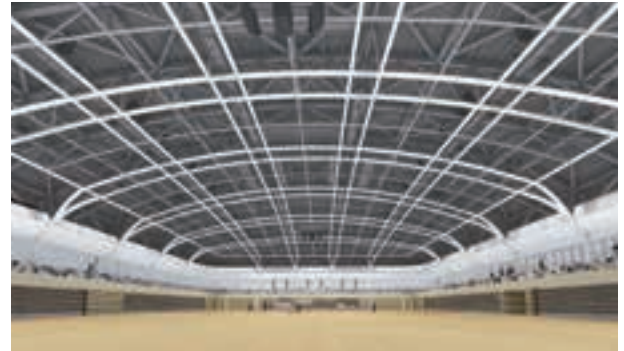
彦根城の世界遺産登録の実現に向けて、推薦書原案の作成などを県市連携で行うとともに、情報発信・啓発活動を行うために必要となる経費です。



彦根市スポーツ・文化交流センター整備事業
彦根市スポーツ・文化交流センター管理運営事業

22億4,080万6千円
6,736万5千円

スポーツと文化がつながる新しい市民交流の拠点である彦根市スポーツ・文化交流センターの整備を行うために必要となる経費、および令和4年12月供用開始に向け、雑誌や図書等の購入などの開館準備業務を行うとともに、オープン時のイベント実施、住民サービスの向上と効果的かつ効率的な管理運営を行うため、指定管理者への施設の管理運営委任に必要となる経費です。



▲メインアリーナのイメージ

ごみ焼却場整備事業

11億9,311万5千円

長寿命化計画に基づくごみ焼却施設の大規模修繕(令和3年度から令和6年度まで)と長寿命化工事中に可燃ごみを外部搬出し処理を行うために必要となる経費です。



公共交通活性化事業

5,146万3千円

うちグリーンスローモビリティ社会実験支援業務委託料

842万6千円

彦根城の世界遺産登録を見据え、彦根城周辺地域の渋滞を緩和するための手段のひとつであるグリーンスローモビリティによる社会実験を行うために必要となる経費です。

※グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両を含めた総称のことです。



▲グリーンスローモビリティのイメージ

インターネットによる市政情報発信事業
うち備品購入 (YouTube 配信関係)

816万9千円
30万円

YouTube動画配信により、SNSと連動した市政情報発信を図るために必要となる経費です。

予算常任委員会

議案19件を可決

予算常任委員会は、3月11日(金)、14日(月)、15日(火)、22日(火)、25日(金)に委員会を開催し、19件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・ 議案第5号、 議案第6号、 議案第7号、
議案第8号、 議案第9号、 議案第10号、
議案第11号、 議案第12号、 議案第13号、
議案第14号、 議案第30号、 議案第31号、
議案第32号、 議案第33号、 議案第34号、
議案第35号、 議案第36号、 議案第37号、
議案第38号

【主な質疑】

- Q 国際観光事業の多言語パンフレット作成委託料では何語の多言語マップを作成するのか。
A 英語・中国語・韓国語を想定している。
- Q パンフレットの作成時期は。
A 国庫補助金が確定する6月を想定している。

【議員間討議で出た意見】

- ・ 既にパンフレットはあるので不要。
- ・ 外国人旅行客はインターネットで調べる傾向であり不要。

【主な討論】

○議案第6号に対して

反対 財政再建のためには企業誘致など外部から資本を呼び込むのではなく、地域経済対策やリフォーム事業、地産地消の学校給食などで地域の経済を循環させることが大切であり予算をつけるべきであるが、その覚悟が現れていないことから反対する。

賛成 商工費や土木費など3億6,900万円が減額されたものの、前年度比7.9%増の497億6,900万円となった。前年度までの箱物投資の影響が大きく財政調整基金残高も16億円になった。これまでの8年間をリセットするのも1年や2年ではできるはずもなく、本庁舎やスポーツ・文化交流センターに係る市債の長期の返済が続くことになる。本来は縮小すべきではあるがどうしても削れない事情を理解した上で賛成する。

【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

彦根市公園条例の一部を改正する条例案等、議案3件を可決

市民産業建設常任委員会は、3月17日(木)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・ 議案第21号、議案第24号、議案第25号

【主な質疑】

- 議案第21号に対して
 - Q スポーツ・文化交流センターのように、1時間当たりの使用料としなかった理由は。
A 既存の施設の運用に整合させた。
 - Q 減免に対する制度の考えは。
A 教育委員会主催のイベントなど一部においては減免措置をしている。
- 議案25号に対して
 - Q この契約の設計業者は。
A 廃棄物のコンサルタントの環境技術研究所である。
 - Q 契約金は妥当であったのか。
A 妥当だと考えている。

Q 入札の参加者数、そして落札率は。

A 参加した事業者は、一者のみ。

落札率は、97.7%であった。

Q ゴミを外部拠出するための設備工事とは。

A 市外へ搬出して処理をするための外部搬出装置の工事。

Q 入札業者が少ない理由は。

A 大規模な改修工事であり、このための技術を持っているところが少なく、結果、今回の仕様の中で応札は一者しかなかった。

【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、3月18日(金)に委員会を開催し、9件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・ 議案第15号、 議案第16号、 議案第17号、
議案第18号、 議案第22号、 議案第26号、
議案第27号、 議案第28号、 議案第29号

【主な質疑】

○議案第18号に対して

- Q 今般の成人年齢引き下げという民法の一部改正に準じて条例の一部を改正することだが、成人年齢が18歳に引き下げられることによって対象となる市内の大学等へ通う方への美しいひこね創造活動参加登録呼びかけの啓発をどのように考えられているか。
- A 条例改正の周知は、広報ひこねやホームページで考えている。高校生への周知は、対象者が限られているため、考えていない。

○議案第22号に対して

- Q この条例改正案に欠格条項を盛りこまれた理由は。
- A 消防団地位確認等請求控訴事件の和解条項を受け、本市の条例規則を確認するために、国や県内他市の条例を比較したところ、本市条例に欠格条項等の規定がないことが判明したため、新たに規定するもの。
- Q 今までの出動手当が報酬にかわるということで、多くの消防団員の方が課税対象となり、確定申告が必要になる方もあると思うが、その認識で間違いはないか。
- A 課税対象となる。これからの具体的な手続きは、趣旨等も含めて、再度消防団員の方にお伝えしていく。

【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会(所管事務調査)

年末年始の大雪の除雪対応について

市民産業建設常任委員会は2月4日(金)に所管事務調査を行いました。

委員会では、特にくすのき通りの除雪対応が改善されていない理由や排雪した雪を捨てるところについての当局の考え方、除雪委託業者の作業工程等についてどこまで把握し指示していたのか、彦根市に寄せられた除雪に対する苦情の主な内容とその対応について等、各委員から様々な質問がありました。

市の担当部局からは、くすのき通り、病院前の道路については、財源の問題もあるが、市として重点的にこの路線で何か対策ができないかあらためて検証していく。雪の置き場所については、市・県どちらも課題であると認識しており、捨てられる場所を複数設けることができないか今後検討し、県と協議を進めていきたい。市として不要不急の外出自粛を呼びかけていたが、広域的な観点から広く周知され

ていたかどうかのところもある。こういったところも含めて、できることを検討していく。除雪委託業者から移動距離などの聞き取りを行い、県道と市道、両方ともに生かせるような、効率的な手法について、県ともあらためて協議を進め、改善を図りたい。苦情対応についても除雪対象路線以外の除雪の依頼についてはすべてお断りしたが、本来の対象路線内で除雪できていないという意見についてはすぐに委託業者に連絡を取るなど、業者が回りきれないところは別の業者が対応できないか、市の方で調整をして、臨機応変に対応をした等の説明がありました。

最後に除雪ならびに災害における今後の市の対応について改善をあらためて要望し、委員会を閉じました。



議会改革特別委員会

新たなオンライン会議システムを導入、議員間討議については現在の運用の中で活用を

2月28日(月)に委員会を開催し、「オンライン会議システムの活用について」と「議員間討議の活用について」の2件を議題として協議しました。

オンライン会議システムの活用については、昨年2月の委員会において、委員会条例で定める委員会を除く会議を対象として無料版のZoomを使用することを決定し、運用を開始しましたが、会議システムの時間制限などの課題があり、十分な活用が図られていないことから、市が導入しているCisco社のWebex Meetingsというシステムを追加することが決まりました。

今後、災害時や産休・育休等により登庁できない場合などにもオンライン会議が利用できるよう、今回整備した環境を土台に条例や規則の改正などソフト面での環境整備について検討が必要であると議長に答申することにしました。

議員間討議の活用については、実績がほとんどなく、まずは現在の運用の中で実際に議員間討議を行ってみて、十分に活用が進んだ上で、要綱等をつくるべきではないかと考え、議員間討議の意義や必要性、運用方法等についてあらためて全議員に周知し、活用が進んだ状況で再度議論していくこととなりました。

決議案第1号について、全議員が提出者・賛成者となり 全会一致で可決

ロシア連邦によるウクライナへの侵攻に断固抗議する緊急決議案

2022年2月24日、ロシア連邦はウクライナへの軍事侵攻を行った。

そして数日でウクライナ全土に攻撃の範囲を広げ、民間人を含む多くの人々の命が奪われており、在留邦人の生命も危ぶまれる事態となっている。

このことは国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章および国際法に違反する行為であり、断じて容認できない。

ここに彦根市議会は、ロシア連邦によるウクライナ侵攻に断固抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍の即時無条件の撤退を強く求める。

令和4年3月7日

市政について
質す!

2月定例会個人質問

19人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ配信・録画配信の視聴について



本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
常任委員会と特別委員会については、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。
配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



森野 克彦議員
企画総務消防常任委員会

Q 神宮踏切の今後の対策の計画と方向性は

A 踏切南側(南彦根駅側)の歩道設置による踏切拡幅を計画している



その他の質問

- ・ふるさと納税ができる自動販売機の導入についての見解は
- ・第6波のコロナ感染拡大で部活動を中止にした理由は

Q 神宮踏切の今後の対策の計画と方向性は。

A 現状の踏切は、南側(南彦根駅側)に歩道がなく、歩道の連続性が保たれていないため、踏切南側の歩道設置による踏切拡幅を計画している。この踏切拡幅については、JR西日本との事前協議を概ね終えており、今後は、踏切西側の改良に伴う用地取得の目途が立てば、踏切拡幅および交差点改良についての詳細設計に入る予定をしている。

Q 踏切西側交差点の車の右折に伴う危険性なども同時に解消される方向で計画は進んでいくのか。

A 対策には、踏切から交差点までの距離を確保する必要があるが、解決には長い時間と多額の費用が必要である。まずは、歩行者の安全性を確保するため、歩道の整備を進めていきたいと考えている。



▲国土交通省が危険な踏切道として指定した「神宮」踏切



小川 隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q スポーツ・文化交流センターの運営は

A 現燦ぱれすの指定管理者の活用を図る



その他の質問

- ・令和4年度当初予算について
- ・保育関連施設の業務改善について

Q 教室・講座等への市内講師陣の積極的採用はできるか。

A 指定管理者候補者からは、教室を担当する講師等、幅広い業務で市民を優先的に採用し、地域経済の活性化を図るとの提案があり、積極的に取り組まれるものと考えている。

Q 現在、燦ぱれすの運営をされている指定管理者を引き続き活用できるか。

A 指定管理者候補者からは、ひこね燦ぱれすの現管理者へ協力を依頼することを提案されているので、これまでの経験やノウハウを活用いただけるものと考えている。



▲建設中のスポーツ・文化交流センター



長崎 任男議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根市の除雪予算は充分なのか

A 除雪・排雪の方針を予算に反映したい



その他の質問

- ・ペイペイ30%キャッシュバックの経済効果は
- ・今後の予算方針について
- ・何を削って何の歳入を増やすのか

Q 昨年12月26日未明からの強い寒波を伴う降雪は、観測史上初の災害級の

豪雪となり、市内の幹線道路や生活道路は交通渋滞のため完全にストップした。そんな中、市立病院前のくすのき通りではどのような問題が起きていたのか。

A この渋滞は市立病院への救急搬送に大きな影響を与えたと認識している。本市の対応として、清掃センターや委託業者の大型車両により集中的に除雪作業を行ったほか、消防・市立病院・都市建設部・歴史まちづくり部・上下水道部職員が出動し手作業による除雪作業やスタック車両の支援を終日行い、当日夕方に通行障害は解消した。

Q 彦根市の除雪対策予算は充分か。

A 今回の大雪を受け、除雪、排雪の体制構築等方針がまとめられれば予算においても反映したい。



▲年末の市立病院付近のくすのき通りの様子



赤井 康彦議員
市民産業建設常任委員会

Q 除雪作業を雪の少ない県中部等の市外業者にも委託できないか

A 課題は多いが幅広く検討していく



その他の質問

- ・空き家の実態調査結果は
- ・彦根市スポーツ・文化交流センター寄附金の現状は
- ・彦根シティマラソンは実施しないのか

Q 市内の除雪委託業者の数にも限りがある。比較的雪の少ない滋賀県中部や南部の市外業者に委託できないものか。

A 除雪路線への到着に時間がかかるなど課題も多いが、市外業者への委託も含め幅広く検討していく。

Q 除雪用機械の補助を3年くらいの期間限定とした上で3分の2補助にすることで、高価である除雪機が購入しやすくなるとともに、購入することで自治会の役割等が明確になるのではないかと思うがいかがか。

A 財政的なこともあり見直しは難しい。

Q 12月27日(月)9時から警戒本部設置というのは危機意識の薄さではないかと思うが、この時間帯が適切であったのか。

A 降雪・積雪や渋滞状況、情報収集や職員の登庁時間等、様々な状況を加味した上で対応しており、問題ない。



▲市内雪山の状況(令和4年1月6日)



安澤 勝議員
市民産業建設常任委員会

Q コロナ禍での対面、オンラインのハイブリッド授業の対応は

A 市外の学校や先進校の取組を参考にし、実践研究を進めていく



その他の質問

- ・市長は令和4年度本市独自の経済対策は考えないのか
- ・オンライン授業で授業内容が習得されているか

Q 家庭の判断でコロナ感染を危惧して学校へ行かせないと判断されるケースもあると思う。対面、オンラインのハイブリッド授業での対応は。

A 対面とオンラインによるハイブリッド授業を行うには、学習の進め方の見直しやオンライン授業の機器操作の技術の習得なども必要となる。また、現在ハイブリッド授業をしている学校は、教室の後ろや教卓上に教員端末を置いて配信し、子どもたちは授業に参加している。授業を受ける児童生徒の映り込みによるプライバシーへの配慮も必要となり、事前に保護者への説明と了承を得ておく必要があるなど綿密な事前準備が必要となる。今後、市外の学校や先進校の取組を参考にし、実践研究を進めていく。



▲ハイブリッド授業の様子





中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 保育士・幼稚園教諭等の処遇改善は
公立も含めて予算化すべきでは

A 本市職員への適用は困難であると
判断した



その他の質問

- ・学校での感染予防と対策について
- ・スクールサポートスタッフの勤務時間について
- ・一人暮らしの高齢者の居住環境について

Q 教育・保育関連の施設・事業所は何か所あるか。

A 認可保育所は公立3園、民間23園。幼稚園は公立8園、民間1園。認定こども園は公立1園、民間2園。他の小規模保育事業所等は6園。放課後児童クラブは17小学校で業務を3事業者に委託している。

Q 2月からの全てのケア労働者に対する処遇改善の周知はされているか。

A 保育関係は全施設へ要綱配布で周知と申請するように通知し、児童クラブは説明会を開いた。

Q 現時点で処遇改善のための申請はすべてできているか。

A 民間の保育関連施設は全園から実施計画書が提出され、児童クラブ1事業者は見送られた。

Q 公立も対象として予算化すべきでは。

A 国が示す改善方法が本市に合致せず、平均給与額も高いことから今回改善を見送った。



伊藤 容子議員
市民産業建設常任委員会

Q 11月議会市長答弁の事業費削減
の達成状況は

A 令和4年度予算は過去最大だが、
3億7千万円削減は評価している



その他の質問

- ・市庁舎耐震工事の「無駄遣いの責任の徹底追及」について
- ・新ごみ処理施設の処理能力について
- ・ヤングケアラーについて

Q 11月議会で市長は「事業費の削減は前市長の中期財政計画と同程度の25億円削減が必要」と答弁したが、25億円削減は諦めたのか。

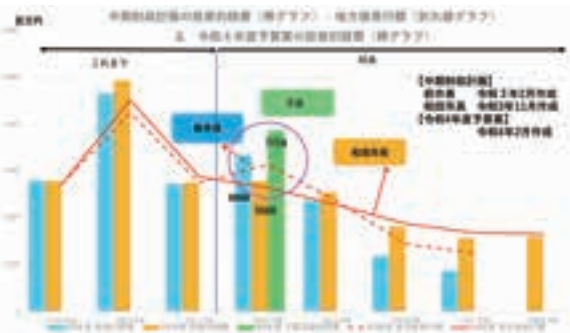
A 既に着手した事業の削減は予想以上に厳しかった。

Q 本予算は、市の貯金や資産を削りながらの事業遂行であり、財政問題の先送りである。市長公約「未来の子ども達にツケを残さない」とあるが見解は。

A 当初各部署の要求を25億円削減したが、既存事業等の影響を考え10億円復活し、過去最大の予算規模となった。3億7千万円の事業見直しを行いバランスはとれた。

Q 前市長からの予算フレームが変わっていない本予算は、今年度からしっかり削減に取り組むべきでは。

A 次年度以降は、システムや委託事業、補助金等についても見直し、財政健全化に努める。





辻 真理子議員
市民産業建設常任委員会

Q 獅山元市長の総事業費(現行案)と比較すると何倍になったのか

A 本体工事費は約1.9倍である



その他の質問

・広域ごみ処理施設における容器包装プラスチックごみの分別ルールは

Q 本庁舎耐震化整備事業の総事業費は幾らか。

A 現在約67億5,100万円の見込み。

Q 市債を充当した額は。

A 市債を充当した額は54億3,130万円で、このうち47億3,550万円が緊急防災・減災事業債。この市債は、交付税措置率70%である。

Q 市債の償還は。

A 償還は平成29年度から開始し、24年間の返済となる。

Q 獅山元市長の総事業費(現行案)と比較すると何倍になったのか。

A 本体工事費は約1.9倍である。

Q 総事業費について、市長はどのように検証し、公表するのか。

A 「裏合意」は一旦おいておき、責任はしっかりと明確にし、その結果は、任期中のしかるべき時期に市民の皆様に分かりやすい形で報告をさせていただきたい。

工事の名称と規模	総事業費見込額	本体工事費の額
【現行案】前面5階建増築(8,620㎡)・立駐あり	約 3,240,000,000 円	2,700,000,000 円
【当初案】前面1階建増築(650㎡)・立駐なし	約 1,691,600,000 円	1,421,080,000 円
【集約案】前面1階後面5階建増築(3,565㎡)・立駐なし	約 2,749,650,000 円	2,390,905,000 円
【O 案】前面5階建増築(6,200㎡)・立駐あり	約 3,896,584,000 円	3,170,324,000 円
【R1.12集計】総務部長答弁の工事費用の内訳合計	約 6,800,000,000 円	
【R4.2集計】総務部長答弁の工事費用の内訳合計	約 6,751,000,000 円	5,147,352,000 円

答弁をもとに、辻真理子が作成

◀ 審議等で示された総事業費(本庁舎耐震化整備事業)と本体工事費



黒澤 茂樹議員
福祉病院教育常任委員会

Q 県からの支援がなくともプール建設を進める考えはあるのか

A 彦根市単独でのプール建設は考えていない



その他の質問

・彦根市スポーツ協会の役割等について
・彦根市公共施設等総合管理計画について

Q 県からの支援がなくともプール建設を進める考えはあるのか。

A 第一義的には県が建設するべきものと考えており、草津市のように県から3分の2等の補助を得られれば、建設の方向も見えてくる。現時点では、補助もなく単独事業としての建設は考えていない。今後、広域新ごみ処理施設の熱や温水、電気を利用する形で建設できないか検討する。ただし、広域ということで他町が了解するかどうかの課題もある。

Q 心底、「積極的に建設したい」という気持ちがあるのなら、プール建設に向けた体制整備が必要ではないか。

A 必要性は十分認識しているが、現時点で市単独での建設は難しいことから、建設時期の目標も定められないし、建設に向けた体制整備も現在は考えていない。



▲解体前の滋賀県立スイミングセンター



矢吹 安子議員
企画総務消防常任委員会

Q 手話言語のコミュニケーションボードの設置は

A 市ホームページに掲載し、ダウンロードして利用できるようにする



その他の質問

- ・郵便ポストの設置への働きかけは
- ・ATMの設置は
- ・マルチコピー機の導入は

Q 地域での手話等に関する取組状況は。

A 手話サークルは、ボランティアフェスタ等でミニ手話教室や物品販売で手話や聴覚障害の理解を広める活動をされている。

Q 手話言語のコミュニケーション支援ボードの設置は。

A 支援ボードは聴覚障害、知的障害、発達障害のある方、高齢者、幼児等コミュニケーションの支援が必要な方に合理的な配慮が提供できるツールとして有効であることから、市の施設に積極的に設置、市ホームページに掲載し、民間事業者にもダウンロードして利用していただけるようにする。

Q 手話言語条例の制定は。

A 条例制定の必要性は認識している。聴覚障害のある方々と意見交換の上意向を十分に反映し、県の動きを注視しながらより実効性のある条例制定を検討していく。



▲吉川市コミュニケーションボード



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 不妊治療の保険適用拡大後の経済的・精神的負担緩和への取組は

A 国や県の動向を注視しつつしっかり対応できるよう研究等進める



その他の質問

- ・感震ブレーカーや避難所のスマホ充電設備等の整備について
- ・所有者に寄り添う空き家対策について
- ・河瀬公園整備について

Q 不妊に悩まれる方に厚い手立てを講じるべきでは。

A 国の資料では約5.5組に1組と多くの方が不妊治療を受けていると言われており、経済的・精神的負担の軽減が必要と認識している。

Q 令和4年度から不妊治療への保険適用が拡大されるが助成制度はどうなるのか。

A 多くの不妊治療が保険適用となることから助成制度も廃止の方向であるが、円滑に移行できるよう経過措置を設ける。

Q 不妊に悩まれる方に寄り添うため、例えば長野県松本市では薬や漢方等も含めた不妊治療全般に対する医療費助成制度があり、本市でもこのような制度を設けるべきではないか。

A 精神的な支援や治療を受けやすい環境整備等図りながら、国や県の動向を注視しつつ研究していきたい。



▲所管課となる健康推進課の窓口



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 介護人材確保対策は

A 今年度の新たな取組として、啓発パンフレットを作成



その他の質問

- ・市内特別養護老人ホームクラスター発生への対応について

Q 介護人材確保対策はどうなっているか。

A 今年度の取組として、「福祉の職場説明会」を2回開催し、「彦根市介護福祉士育成応援補助金」や「彦根市介護職員初任者研修受講補助金」による助成を行い、新たな取組として、子育て世代層に向けた啓発パンフレットを作成し広く周知を図っている。

Q 新しい視点に立ったPR動画の作成を考えてはどうか。

A 令和4年度のパンフレットおよびPR動画作成については、若者層をターゲットとした内容を考えている。パンフレット・動画作成については、民間事業者のアイデアを取り入れながら、若者世代に向けた印象的な内容のものを作成できるよう、「湖東圏域地域福祉人材確保事業連携会議」で協議しながら進めていきたい。



湖東圏域(彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町)福祉人材確保パンフレット▶



馬場 和子議員
企画総務消防常任委員会

Q 除雪後の雪の仮置き場を複数想定することへの見解は

A 琵琶湖岸や大きな河川等、処理が不要な場所での検討を考えている



その他の質問

- ・自治会等への除雪に係る補助制度活用の周知と啓発は
- ・大雪をプラスに転換「白まつり」開催は

Q 年末年始の雪の状況への見解は。

A 過去最大の73cmの積雪深となり、市内各所で立往生による渋滞が発生するなど、市民生活へ多大な影響と、人的・建物被害も生じた。

Q 市道135路線は44業者、82台の除雪車が稼働したとのことだが、除雪状況の把握はしていたのか。

A 融雪剤散布時のパトロールで除雪状況を確認していたが、すべての除雪対象路線を把握できなかった。

Q 除雪後の雪の仮置き場を複数想定することへの見解は。

A 琵琶湖岸や大きな河川等、その後の処理が不要で支障がない場所での検討を考えている。

Q 旧港湾や松原網代口への投入は。

A 管理する滋賀県と協議する。

Q シーズン前に雪に関する市民への啓発の考えは。

A 全戸配布の「市民防災マニュアル」等により周知・啓発する。



▲排雪場所となる可能性がある松原網代口



中野 正剛議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根市の水道管路の耐震化を進めるのに問題はないか

A 水道管路の経過年数を基本に、管路の状態を確認して更新していく



その他の質問

- ・気象に関するメール配信について
- ・次期彦根市総合計画 前期基本計画(素案)の政策推進のための取組について

Q 彦根市の水道管路の耐震化を進めるのに問題はないか。

A 本市の管路の耐震化については、老朽管路の更新に併せ耐震化を図っている。

現在の管路の更新状況が継続すると、将来、老朽管の増加による管路事故や漏水などが発生する懸念があるが、多額の費用を要するので、管路更新については経過年数を基本に、漏水の頻度や管路の状態を確認したうえで、重要度を考慮して更新していく。

Q 令和7年度目標の管路耐震化率19.5%でどれくらいの安心が得られるか。

A 本市の耐震化率は、最大規模のレベル2地震動(震度7)を想定している。令和7年度目標の耐震化率で、レベル1地震動(震度6弱)に対しては、管路総延長約794kmの89.3%以上の管路が対応していることとなる。



▲老朽水道管更新工事



森田 充議員
市民産業建設常任委員会

Q ふるさと彦根応援寄附事業の令和3年度寄附額は

A 過去最高の約5億3,600万円



その他の質問

- ・今後の財政展望は
- ・高等専門学校の設置候補地は
- ・オープンデータの活用状況は
- ・シビックテックの取組についての考えは

Q ふるさと彦根応援寄附事業の令和3年度寄附額は。

A 過去最高の約5億3,600万円。

Q 直近3年間の寄附額推移をみて課題は。

A ニーズを的確に把握し、特色のある返礼品を提供していくこと、また、寄附額の増額に直結するインターネット広告を切れ目なくタイムリーに行っていくことの重要性をあらためて課題として認識している。

Q 申請方法の選択肢を拡げるためにも、ふるさと納税ができる自動販売機を設置しては。

A 中には、プロモーション効果を期待している設置自治体もある。今後、申請方法の選択肢を拡げるという寄附者の利便性や設置に伴う費用対効果の観点から、調査・研究をしっかりと進めていく。

Q 返礼品の充実策は。

A 組織横断的な市職員有志による返礼品開発チームを立ち上げる。



▲共感納税という本来の趣旨から静岡県藤枝市で設置されている『ふるさと納税自動販売機』



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q 今回の「彦根市総合計画」の主なポイントは

A 「市民一人ひとりが輝くまち彦根」の実現に向けて取り組む



その他の質問

- ・15%のごみ減量で気候危機に対応できるか
- ・新ごみ処理施設の規模を小さくする必要があるのではないか

Q 今回の「彦根市総合計画」の主なポイントは。

A 「歴史と文化を紡ぎ、未来を創造する、市民一人ひとりが輝くまち彦根」を目標に掲げ、「だれもがその人らしくいきいきと暮らし、つながり支え合うまち」、「子ども・若者が自分らしく輝き、学び躍動するまち」、「歴史・文化を生かし、にぎわいと特色ある産業が育つまち」、「豊かな自然と共生し、安全・安心で快適なまち」の4つのアプローチから令和15年での実現を目指す。

Q 「人口減少・少子高齢化」への対策は。

A 子育て世代にとって魅力的なまちづくりを行うことが重要であるため、令和7年度までの目標として、小学校6年生までの通院医療費助成拡充、小・中学校給食無償化、待機児童解消等、子育て支援を拡充していく。



▲子育てを支える子どもセンター



和田 一繁議員
市民産業建設常任委員会

Q 副市長の役割をどのように果たしていくのか

A 組織の円滑な運営と組織改革、経済界、議会との調整役を果たす



その他の質問

- ・災害時応援協定について
- ・シガリズム観光振興ビジョンについて

Q 副市長の役割をどのように果たしていくのか。

A 組織の円滑な運営と組織改革、市と経済界、労働界との橋渡し役、議会との調整役など任務を全うする。

Q 副市長の考える職員の人材育成に対する考えは。

A 若年層の職員においては、まずは、窓口部門、事業部門、管理部門など幅広い部門を経験しながら知識や技術などの基本的な能力を身に付け、ミドル層においては、経験した部門の中から、自分に適した部門でさらに専門性を磨きながら能力を高め、管理職層においては、まさにその道のプロフェッショナルとして活躍していくことのできる職員を育成していく。

Q 副市長は何を重点に力を入れたいか。

A 職員と彦根市役所の絆、職員エンゲージメントを今一度再構築し就労満足度を向上させる。



▲議場の副市長席

個人質問



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会

Q 5歳から11歳のワクチン接種が開始されるが情報提供は

A 接種を悩まれる方もいると思われ都度の最新情報の提供は必要

Q ワクチン接種は任意なので、接種を希望する、接種を希望しないだけでなく、もう少し様子を見てから接種の判断をするという選択肢もあり、それぞれの意思が尊重されるべきである。

5歳から11歳の接種が開始されるが、対象となる子どもや保護者には、最新の情報をワクチン接種の判断材料としてわかりやすく提供する必要があると考えるが見解は。

A 5歳から11歳のワクチン接種については、オミクロン株に対するエビデンスは必ずしも十分ではないことから、国においても、新たな知見が得られ次第、速やかにお知らせするとされているところであり、現時点で接種をするかどうかについて悩まれる方もいると思われる。都度の最新情報の提供は必要であるとする。



その他の質問

- ・子どもおよび子どもにかかわる人のマスク着用について
- ・メタバースによる市長公約の実現は



▲コロナワクチン



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q 産後ママほっと事業の利用者の声は

A 授乳方法やミルクの量など具体的に指導が受けられよかった

Q 結婚支援事業を活用してもらう工夫は。

A LINE「彦根市移住コンシェルジュ」での情報発信、移住ポータルサイトへの掲載、市内結婚式場でのチラシ配布など広く周知を図る。

Q 妊娠・出産・子育ての相談状況は。

A 今年度の子育て世代包括支援センターの面談件数は732件、健康推進課での電話相談は961件。乳幼児個別相談100件、新生児訪問421件。相談内容は妊娠経過や出産の不安、育児や発育・発達のこと、授乳・離乳食の栄養のことなど。

Q 産後ママほっと事業の利用者の声は。

A 「夜間の授乳で寝不足だったが、助産師に乳児を預かってもらえ、ゆっくり休息が取れた」「授乳の相談ができ、授乳方法やミルクの量など具体的に指導が受けられよかった」とのご意見があった。



その他の質問

- ・子ども家庭福祉ソーシャルワーカーに期待する効果は
- ・子育てしやすい彦根への市の方針は
- ・人口を維持するための課題は



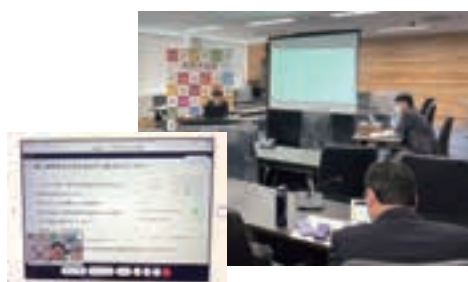
2月定例会その他質疑

追加提出された議案第30号から議案第37号までに対して、2名の議員(馬場和子議員、伊藤容子議員)から個人質疑がありました。

意見書案第1号を賛成多数で可決

精神障害者に対する福祉医療費助成制度の充実を求める意見書案を賛成多数で可決しました。

議員人権研修を実施しました



議員人権研修は年に1回実施しており、今回は、彦根市に所在する盲学校の活動を身近に感じ、さらには視覚障害教育の今後のあり方を市議会議員として学ばせていただくことを目的として、令和4年1月25日(火)に滋賀県立盲学校長をお招きし、「県立盲学校の歩みと共生社会に向けた視覚障害教育のあり方」について、オンラインを活用した研修会を実施しました。

市内施設の現地視察を実施

令和4年2月15日(火)に22名の議員が市内施設2か所(①彦根市スポーツ・文化交流センター建設工事現場【小泉町】、②彦根オープンセット【鳥居本町】)を視察しました。

① 彦根市スポーツ・文化交流センター建設工事現場【小泉町】



小泉町地先で建設が進んでいる施設で、今回は、現地にて建設工事の施工業者等からの説明を受けながら1階メイン・アリーナを含む体育館棟や2階アリーナ周囲のランニング・ロードから弓道の遠的場、施設の外周等を確認しました。

常時150人前後の人員で作業を進められており、令和4年2月末時点の進捗率は約82%とのことでした。

② 彦根オープンセット【鳥居本町】

2万坪もの広大な敷地を有し、既に映画・ドラマ撮影等の分野で活用が進んでいる鳥居本町地先の彦根オープンセットを視察しました。

知名度の高い京都・太秦の撮影セットよりも交通の利便性が高いことや撮影地が住宅街から距離があり撮影が行いやすい等の独自の強みがあるとの説明を受けました。



市政に関するご意見を頂戴する『議会広聴の日』を実施しました

『議会広聴の日』は、普段市民の皆さまが市政について考えているご意見について、市議会議員と気軽にお話ししていただける「意見交換の場」です。

令和4年2月9日(水)および4月15日(金)の12時から16時まで市役所本庁舎1階の情報公開コーナーにて実施しました。

いただいたご意見は、今後の議会活動に生かしてまいります。



議員研修を実施しました



※本研修も国立大学法人滋賀大学との連携・協力に関する協定に基づく事業の一環として実施しました。

価値創造の考え方やデータサイエンスそのものを生かして、議会として市政や市民生活の向上に取り組んでまいります。

市議会議員では、市政に関わりのある様々な課題についての研鑽を積むため、定期的に議員研修会を実施しています。

今回は令和4年1月14日(金)に国立大学法人滋賀大学 データサイエンス学部長をお招きし、「デジタル社会におけるデータサイエンスの役割」について、研修会を実施しました。

データサイエンスの3要素である情報学・統計学・

編集後記

2月定例会では、市の施策、運営の根幹でもある令和4年度当初予算、各議案等について慎重に審議いたしました。本号では、議案の審査結果等を掲載しています。さらに彦根市議会のホームページでは会議録や録画配信で詳しくご覧いただけます。

さて、令和4年度は彦根城が「令和6年の世界遺産登録」を目指すべく国内での推薦候補に選定されるか否かの大切な年でもあります。人類共通の遺産として過去から引き継がれたかけがえのない宝物を未来へとつないでいけるよう市民の皆さんと共に応援してまいりたいと思います。

今後とも市民の皆様の声をお聴きし、施策に反映できる力の向上を目指し議員一人ひとり研鑽に努めてまいります。

広報委員会



次の定例会は **6月**です

本会議・委員会の日程(予定)

月日	内容	時刻
6月 6日(月)	開 会	9:00
6月13日(月)	個人質問	9:00
6月14日(火)		
6月15日(水)		
6月17日(金)	予算常任委員会	9:30
6月20日(月)	市民産業建設常任委員会	9:30
6月21日(火)	企画総務消防常任委員会	9:30
6月22日(水)	福祉病院教育常任委員会	9:30
6月27日(月)	閉 会	9:00